

2008年度 公共政策大学院 民事法の基層と現代的課題

レポート課題

賠償（責任）、賠償責任以外の法的責任、あるいは損害を填補する機能を持つ賠償以外の法制度について、各自が任意のテーマを設定して、レポートを作成すること。

注意

- 1 授業を聴いて各自が関心を持ったテーマにしぼって、十分な調査、考察を行うこと。授業の内容をそのまま再現したり、逆に授業の内容と無関係にテーマを設定したり、問題意識を明確にしないで総花的な概説をしたり、単に授業の感想を述べたりするレポートには、しないこと。
- 2 レポートの内容は、法解釈論、制度論・立法論、法社会学的分析、法制史、比較法の、いずれに関わるものでも、あるいはこれらを組み合わせたものでもよい。学際的な分析、例えば、法と経済学、法人類学、法心理学の観点からの分析でもよい。
- 3 分量は指定しない。およそ見当がつかない人のために、目安を1万字としておくが、この字数にはこだわらなくてよい。
- 4 引用あるいは参照した文献・資料・判決などを、注の形で明記すること（参考文献表をレポート末尾に付け、脚注あるいは注には、略語で表記することも可能）。

提出期限・方法

7月31日（木）正午までに、公共政策大学院の事務室に提出すること。それより後に提出されたレポートは、受け付けない。